

# 「やっぱり木の香りって最高!!」 洒落気あふれる木製時計など、 ものづくり40年、木工の商品開発

アートピア

昭和52年創業のアートピア（横浜市旭区都岡町、岡室憲明社長、045・954・5760、<http://www.artpia-kyouzai.co.jp/>）は、40年にわたって学校用図工美術教材を製造してきた。事務所に併設された加工所は、木製品を主に取扱っているだけあって、足を踏み入れた途端に爽やかな木の香りに包まれる。

岡室社長は根っからのものづくり大好き人間である。小・中・高等学校向けに、「最後まで楽しみながら作り上げることの感動を生徒たちに」というコンセプトのもと、新製品開発のブレインストーミングを繰り返す。

しかし、近年の少子化によって昭和47年頃を境に生徒数は半減。このまま学校教材を扱うだけでは売り上げは頭打ちではすまない。と新たな事業展開を模索する中、ネット通販を通じてデジタル時代にもかかわらず根強いアナログ時計の需要を知った。OEMで特殊な時計なら自社でも手がけていたので、改めて新商品の検討を始め、エコ目的でつくっていた接ぎ板を使用して、結婚記念の「HUG時計」を思いつく。木は接ぐと強くなる性質に、木の「接ぐ」と愛情表現



ものづくり大好き!木工40年の岡室社長



結婚のお祝いに、「接ぐ」と「ハグ」のダジャレが効いた「HUG時計」



遊び心満載のトイレ型時計

の「ハグ」をかけたダジャレで命名したギフト時計として開発中である。HUG時計のロゴは産学連携でデザイン学校に制作してもらった。

また、使い道のない節のある木の板を活かして人生の節目に贈る「節目時計」、まったく傷も節もない板は赤ちゃんが生まれたときに贈る「無垢時計」として、「そういういえばトイレって時計がないことが多いな」という単純な発想から、防虫・消臭効果もあるクスノキをトイレ型の時計にしてフタ裏にウィットな言葉をレーザー加工で入れるなど、最近ではアナログ時計新製品のアイデアに時間を忘れる日々が続いている。

9月6日～8日に東京ビッグサイトで開催される「第84回東京インターナショナル・ギフト・ショー®」にも出展予定である。